

## 高校生と地元企業の交流による まちの地域活性化を考える ～ホームグラウンドに戻ってくるために～



千葉県匝瑳市 池田 誠

### 1. はじめに

全国各地で人口減少が進む中、匝瑳市でも千葉県という首都圏に属しながらも人口減少、少子高齢化、後継者不足と様々な問題が表面化している。

その中でも人口流出は、毎年約 400 人に上る。特に 20 代、30 代の流出が大きい。匝瑳市では、大学進学希望者が多く、進学時に町を離れた学生の多くは、卒業後も地元に戻ってこない。

地域の若者に対する対策によって、若者を呼び戻し、地域の中で経済をまわしながら地域に根づいた産業を維持していくことが必要であり、これからの匝瑳市を担う可能性のある若者たちが「戻ってきたい」と思えるまちにすることが、将来的に若者世代の確保に繋がり、少子高齢化、後継者不足等の問題への対策となっていくのではないかと考える。

そこで、市内に通う高校生にアンケート調査を行い、課題を明らかにしたうえで、今後どのように取り組んでいくべきかをこのレポートで検討したい。

### 2. 匝瑳市の概要

#### (1) 合併情報、住基人口の統計情報

千葉県匝瑳市は、平成 18 年に八日市場市と匝瑳郡野栄町が合併して誕生した。合併当時の住民基本台帳人口(平成 18 年 1 月 31 日現在)は、41,975 人であった。合併から 10 年を迎えようとしている今年の人口は、住民基本台帳人口(平成 27 年 12 月 31 日現在)で、38,197 人となっている。10 年間で約 3,800 人と 1 割程度減少している。転出超過に加えて、死亡数が出生数を上回る自然減も顕著になってきている。

#### (2) 交通網、交通状況

匝瑳市は千葉県の北東部に位置し、東西に 12.5km、南北に 15km、面積は 101.78km<sup>2</sup> で市の中心部を JR 総武本線と国道 126 号が東西に走り県庁所在地の千葉市まで電車で約 1 時間 20 分、車では 50 分ほどで行くことができる。東京都心までは約 1 時間 10 分、成田方面とは国道 296 号線で結ばれており、車で 30 分の距離に位置する。また、圏央道が開通したことによって約 1 時間で海ほたるまで行くことができるようになった。市内の移動は、



図 1 匝瑳市の位置  
※匝瑳市ホームページより

ほぼ車であり、車が必需品となっている。都心のように過度な渋滞もなく東北や北関東など、各方面へも出やすくなっている。

### (3) 産業

市の主要な産業は農業である。水稻の収穫量は県内第3位に位置し、早場米産地としての千葉県を支える米処である。野菜はトマトやキュウリ、ピーマン、ネギを中心に様々な作物が栽培されている。さらに、市内では有機農業の取り組みも広がってきている。また、日本有数の栽培面積を誇る植木の産地でもあり、植木の栽培面積・出荷額・輸出量で日本一である。

しかし、産業別の就業人口では、1980年に農業が4割近くを占めていたが、産業構造の変化により2010年には1割にまで落ち込んでいる。その代わりに増えているのが、サービス業である。また、15～29歳の若者は、製造業、卸売・小売業、飲食の順に就業する割合が高くなっている。農業、電気・ガス・水道業、建設業の就業する割合が低くなっている（総務省「国勢調査」(平成22年(2010年))）。

## 3. 匝瑳市の現状

### (1) 人口の推移

年齢階級別純移動数（図2参照）で比べると平成17年(2005年)から平成22年(2010年)にかけての純移動数では、「10～14歳から15～19歳になるとき」において、196人の転出超過、「15～19歳から20～24歳になるとき」に553人という大幅な転出超過となっている。さらに、「20～24歳から25～29歳になるとき」では、平成17年(2005年)までは転入超過であったが、平成17年(2005年)から平成22年(2010年)にかけては転出超過となっており、最近では、若い世代が大学卒業後に、地元に戻らなくなっていることが窺える。

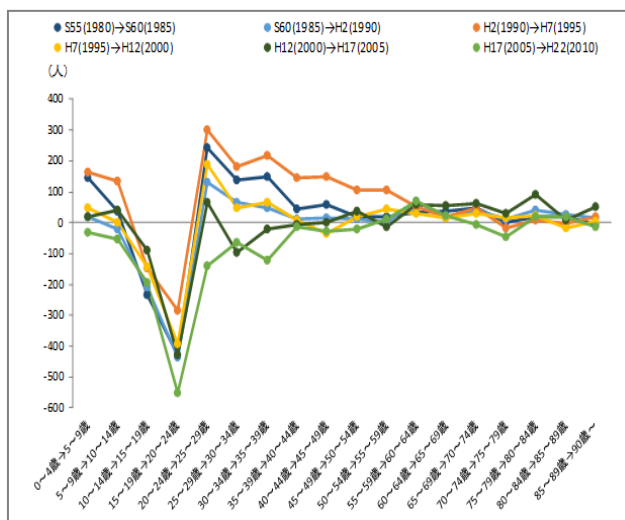


図2 年齢階級別順移動数の時系列分析

出典：総務省「国勢調査」、「住民基本台帳人口移動報告」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

### (2) 合計特殊出生率と未婚化率

平成26年度の合計特殊出生率全国は1.42、千葉県1.32、匝瑳市1.35となり千葉県よりも高くなっている（図3）。合併してからある程度変動はあるものの、県内の市町村の中では、高いほうだが全国平均よりは低い状況にある。また、千葉県人口動態の資料によると平成17年と平成22年の未婚化率を比べると30歳以降が上昇していることが分かる（図4）。

このことから、子どもの数が減少している。さらに、未婚率も高くなっているため自然減となっている。

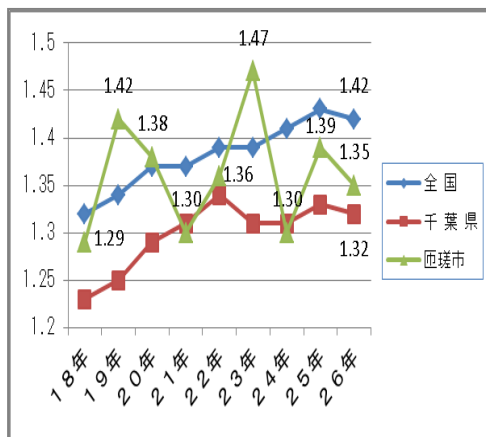


図3 合計特殊出生率

出典：千葉県人口動態統計より筆者作成

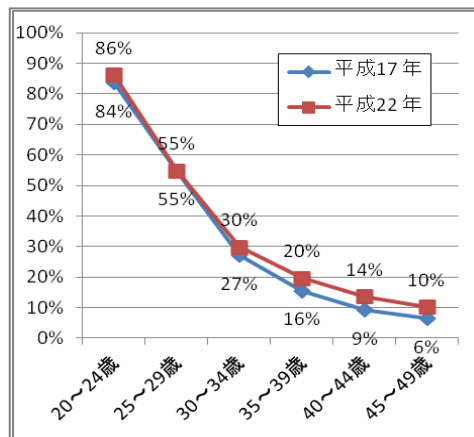


図4 匝瑳市の女性の未婚化率

出典：千葉県人口動態統計より筆者作成

### (3) 市内の高校に通う生徒の居住地と進学希望の状況

アンケート調査結果（市が匝瑳にある高校の3年生を対象に行ったアンケート調査（平成27年9月実施））から、市内の県立高校及び私立高校に通う生徒の居住地は、市内が3割未満、市外が7割以上となっている。市内からの進学者が少ないが近隣市町村から生徒が集まってきている状況である。

また、同アンケートでの高校卒業後の進路予定についての回答は、県立高校全体で進学希望が95%（うち、市内居住者は96%の進学希望）、私立高校全体で65%（うち、市内居住者は61%の進学希望）となっている。両校合わせると85%の進学希望であり、多くの生徒が進学を希望している状況である。

市内に大学がないため、進学希望者は、地元から通う、若しくは大学の近くに居住することになるため、匝瑳市とは違う生活環境を経験することになる。

### (4) まとめ

匝瑳市に大学がないことで、10～29歳の若者の市外流出が見てとれる。さらに、20～24歳から25～29歳のときに、転出した若者が戻って来なくなっていることがわかる。

若者流出による社会減だけでなく、子どもが減っているため自然減の状態である。このことから、地元から若者が流出してしまうことは、地域の衰退にもつながるため、進学や就職などを契機に、市外へ流出する若者に対し、対策をとる必要がある。

## 4. アンケート調査結果

これまでのことを踏まえると地域の若者が大学進学等のために転出する傾向にあることは明らかとなったが、転出したあとに、なぜ地元に戻ってこないのか、その理由を調査するために市内の県立高校と私立高校に協力を依頼しアンケート調査を行った。

高校卒業後のことを意識しはじめる高校2年生を対象に、高校までの過程でどのように考えているか調査した。

### (1) 地元に対する意識と関係

アンケート調査結果により、市内高校に通う高校生の今の住まいのある市町村への居住年数をみると、「9年以上」の回答が93%であったことから、匠瑛市からほぼ通学できる範囲内に、小さいころから住んでいる生徒が多いことが明らかになった。また「学校以外で、あなたはどのように過ごしていますか」との問いに対し、「家族と一緒に過ごす」や「友人と遊ぶ」でそれぞれ70%以上の回答があった。ところが、「地域活動に参加する」との回答は、ほぼなかった。

これらの回答結果を合わせて考えると、小さいころから暮らしている地域ではあるが、地域の活動には参加していない傾向が見て取れ、地域の人たちとの交流も限られたものになってしまっていると考えられる。

### (2) 地元志向の割合と理由

今回のアンケートでは、他市町村から通学している生徒が多いことが匠瑛市の高校3年生に対するアンケート調査によりあらかじめ分かっていたため「あなたは、今住んでいる地域に将来、住みたいと思いますか」という問いを設けた。その結果、「ずっと住み続けたい」、「いったん離れても、戻ってきて住みたい」が約4割、「わからない」が、約4割という結果となった。「住みたくない」という回答が2割に満たなかったことで、地元志向が強いことがわかった(図5)。

また、住みたい理由として「住み心地がいい・愛着がある・まちが好き」が一番多い回答であった。次いで「生活するのに不便だと感じないから」や「治安がよいから」が挙げられた。

「あなたの住んでいる地域に不足しているものはなんですか」との問いに関して、市内・市外生徒全体の回答として「流行の商品が買える店」という回答だった。このほか、市内在住生徒の回答では、「魅力ある企業」という回答が多く、市外在住の生徒では、「魅力ある大学などの高等教育機関」、「魅力ある企業」となった。(図6)。

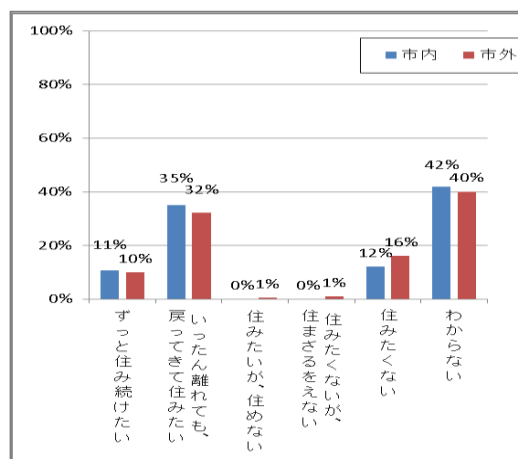


図5 今いる地域に対しての居留意向

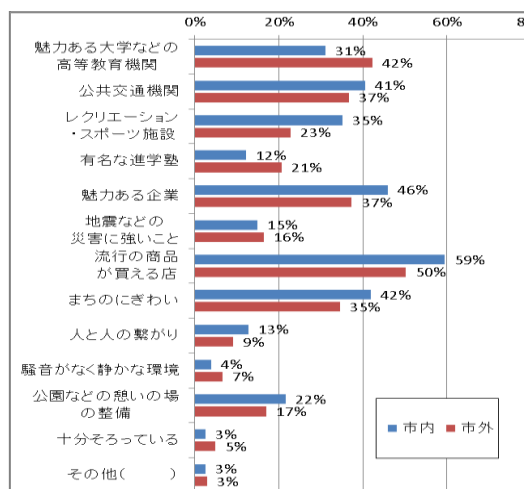


図6 今いる地域に不足しているもの

「通勤・通学する際、今住んでいるところから通いたいと思いますか」との設問では、県立高校の生徒は、半数が「進学先・就職先に近いところに引っ越したい」となり、市内の3割が「できれば通いたい」と回答する結果となった(図7)。

### (3) 進学前の将来働くことに対する意識

リクルート調査の全国規模のアンケートを見ると、5年前は、「大学へ進学した後に自分の可能性を広げ将来について考えたい」と考えている生徒が多かったのに対し、最近の調査では、「進学前に就きたい職業などのイメージを明確化したい」と考えている生徒が増えている。

匠瑛市の高校に通う生徒は、進学前に将来イメージを持って進学したいと考えているのかを確認するために、将来働くことに関するアンケート調査をしたところ次の結果となった。

「あなたは、将来やってみたい仕事はありますか」との設問に対して、「ある」と回答した市内在住の生徒は45%、「何となくある」と回答した市内在住の生徒が39%で大半を占めた。

一方、「ない」と回答した市内在住の生徒は16%という結果となった。また、市外から通っている生徒も同様の結果となった(図8)。

「あなたは、高校卒業後(進学した場合は、大学、専門学校卒業後)、働くことに関して気がかりなことはありますか」との設問に対しては、「就きたい職に就けるのか」という回答が全体の6割に上った。「職場での人間関係がうまくいくか」についても気がかりなこととして3割程度の生徒が回答している(図9)。

このことから、やりたい仕事に対してどのようなことが必要であるかということが明確になっていないことなど、気がかりになっていることが考えられる。その不安を解消できるような機会を設けることが必要である。

## 5. アンケート調査からの課題

若者が流出している中で、4章の高校生へのアンケート結果から、戻ってくる可能性が

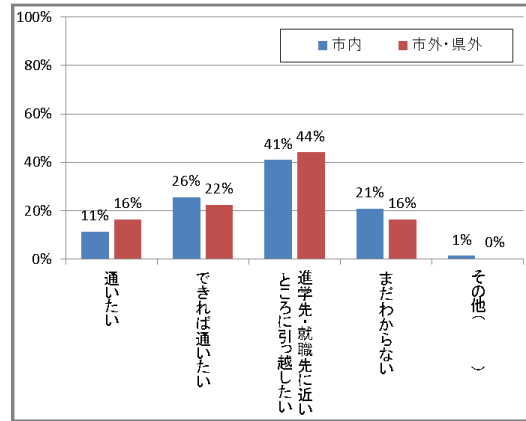


図7 今いるところから通いたいか

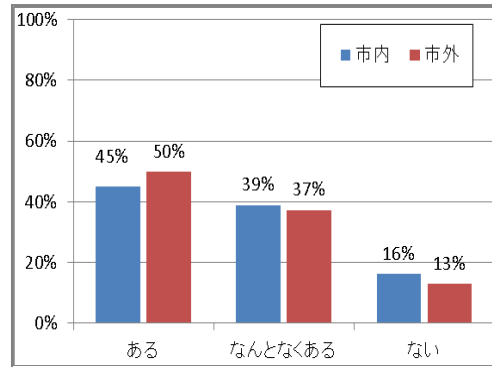


図8 やってみたい仕事はあるか

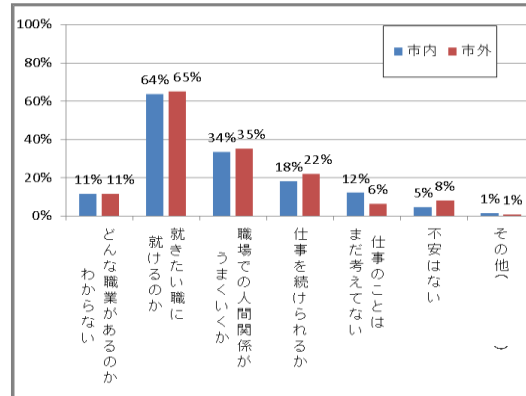


図9 働くことに関して気がかりなこと

ある若者が一定数いることがわかった。そこで若者が戻ってくるためには、どのような課題があるか考察する。

#### (1) 高校卒業までの地元とのかかわり方

市内居住の高校生は、地域での活動には参加していない傾向がある。このため、「地域のこと」が他人事となり、愛着が薄れてしまっていることが考えられる。

地域の行事を大人だけで盛り上げて活性化させようとしているため、子どもは周りから見ているだけになってしまっていることも理由の一つと考えられる。

地域活動に率先して参加できる環境を用意し、自分が社会の一員であるという実感をえられるようにすることで、地域住民との関わりも密接になり地元への愛着が増すことが考えられる。

そのためには、高校生と地域住民の関わり方を見直す必要があると考える。

#### (2) 地元に戻りたい生徒たちへのサポート方法

アンケート結果により、「将来的に住みたい」との回答と「まだわからない」回答を合わせると8割を超える結果が出ている。こうした希望を踏まえて、地元高校生が戻ってこられるように環境を整備することが必要である。

また、「あなたの住んでいる地域に不足しているものはなんですか」という設問に対して、「魅力ある企業」が不足しているという回答が多かった。働くことを考えた時、生徒達のやりたいことと地元企業の情報が合っていないことが課題であるため、働きたいと思えるような仕事の情報を伝えていくことが必要である。一方、「まちなにぎわい」が不足しているとの回答に関して、地域の活動に参加したい人を増やし、にぎわいを感じられるよう、地域住民と共に活動できる場が必要となる。

### 6. 地域課題解決型キャリア教育の先進事例の研究

若者が流出し、戻って来ないことで地域の若者が減っていく。子どもを産んだとしても、その子どもが流出する。そして、産める若い世代が、減ることで高齢化し、地域に活力がなくなり、衰退していくことになる。

同様の現象に対し、先駆的な取り組みを行っている島根県海士町の事例を紹介する。

#### 島根県立隠岐島前高校の「地域課題解決型キャリア教育」の事例

島根県海士町にある隠岐島前高校は、隠岐諸島にある島の高校で、島には高校が1校しかない。年々入学者数も減り、学級数減に伴い、教員も減り、履修できない科目が出てくると大学進学に不利という考え方が根強い。大学進学を希望する生徒は、中学を卒業した時点で、島を離れ本土の高校に進学する傾向にある。このまま子どもの数が減り、入学者数がいなくなると、統廃合となる可能性も出てきており、島に高校がなくなることによって子育て世代が、島外に移住してしまうことが懸念されている。

高校が廃校になると島の存続にも関わるため、島前高校魅力化プロジェクトを立ち上げた。

海士町では、地域資源は豊富にあるが、産業として確立していないため、地域資源を活用し産業として成り立たせることで仕事を生み出すことを始めている。しかし、仕事があるということだけでは、子育て世代の定住は難しいことから、地域課題解決型キャリア教育を行い、「地域のつくり手」の育成を目指している。「地域に仕事や魅力がないから出ていく」のではなく、「地域に仕事を作ろうとする」「地域の魅力を高めようとする」人財を育てることを目標としている。

1～2年次の総合学習では「夢探究」と呼ばれる授業で地域について学ぶ。そのうえで観光に関する企画や地域の人を始め全国や海外の人とも交わることを体験しながら「自分のやりたいこと」であり「地域や社会に貢献できること」でもある夢（志）を思い描いていく。

2年次からは、「特別進学コース」か「地域創造コース」を選択できる。地域創造コースでは、生徒が地域のことを調べて分析し、地球規模の課題を考えるなど、ローカル・グローバル双方の視点からの課題解決に取り組む。

こうした魅力ある教育で、全国から意欲のある生徒を募集している。今では、島外からの新入生が4割強となり、島内出身者とは異なる価値観やものの見方を学校や地域に吹き込んでいる。一時は全学年1学級にまで減った生徒数は増加に転じ、2014年度には全学年2学級化が実現している。

海士町の事例では、産業を一緒に生みだしていく人財を育てることが必要であったため、地域のことを知り、何ができるか学び考える力を養うことが重要であったことから、地域を知ることから始めるカリキュラムを組んでいる。

匠瑛市の場合、地域の産業としてはいくつか発展しているものの、若者が流出し、多くの若者が戻って来ないため、後継者不足や子育て世代の減少、高齢化等様々な課題が上がっている。今ある産業を活かしつつ若者が戻ってきたいと思えるようにするには、地域産業が将来発展する可能性や地元の魅力に気づき、市外に出たとしても心の中で地域が残っていることが重要である。

## 7. 若者が戻ってきたいと思えるために（提言）

今回、アンケート調査を行った結果、様々な課題が見えてきた。その中で、多くの若者が高校卒業後に地域を離れ、その後も地元には戻ってこない。しかし、高校在学中には将来的に地元に住みたいという生徒が4割、また、どうするかを決めかねている生徒が4割いることがわかった。

一方、進学希望者の多くは「やりたい仕事は何となくある」という回答であるが、将来の仕事を具体的に意識できていないことがあげられる。

また、市内に「魅力的な企業」が不足しているという回答が多かったことから、働き口がないため、地元に住むという選択ができない可能性がある。若者が減ることによって、産業の後継者が育たずに伝統技術が継承できなくなる地域がある反面、6次産業化等の取り組みの中に若者の力をいれて、魅力ある商品開発に取り組む地域も増えている。

こうした動きも踏まえながら、地域の若者が、一度地域を離れても戻ってこられるよう

にするために、今後取り組むべきことについて提言したい。

### 地域住民と高校生の交流によるキャリア教育の推進

高校生が、地域住民と交流によって、地元に着着を感じ、市内の企業や産業を知ること  
で、魅力が増し、戻ってきたいと思えるように4つの企画を提案する。

#### ① 合同説明会と一日職場体験

第1に、高校1年生以上を対象とした市内企業合同説明会と体験学習の実施である。地  
域の産業について知ってもらうことと合わせて、地域にある産業の魅力に気づいてもらう  
機会をつくる。具体的には、市内の企業等に業務や仕事について説明をしてもらう場を設  
ける。また、仕事の内容を実際に体験してもらう「一日体験プログラム」を企画し、体験  
する機会をつくる。

市内の多様な業種の事業所に協力を依頼し、仕事内容等の説明をお願いする。また、「一  
日体験プログラム」の内容については、行政、高校と協議の上、作成する。参加した高校  
生には、体験レポートを提出してもらう。

市内県立高校では、総合の時間を利用したキャリアガイダンスセミナーを実施している。  
各企業で活躍されている方から仕事の実情の一端を紹介してもらい、働くことの意義や喜  
びなどを学んでいる。それを踏まえて興味のある企業ブースの説明を聞くことで、具体  
的な仕事の分野が、わかりやすくなると考えられる。または、キャリアガイダンスの代わり  
に合同説明会を実施に参加することによって、興味ある分野に絞って説明を聞くことが  
できる。また、私立高校については3年次に企業訪問をしているため、あらかじめ、市内に  
どんな職業があるか事前を知ることで、卒業後の働くイメージがつくことが考えられる。  
企業側としては、高校生に仕事内容と自社の仕事をPRすることができる。行政としても、  
地域の産業や仕事を高校生に認識してもらうきっかけになると考えられる。

#### ② 「地元の魅力を発掘しよう！」

第2に、高校生にとって、地元企業が魅力的に映っていないこと、または、魅力がない  
ため、「魅力ある企業」が不足していると感じているため、地元産業の魅力や可能性を感じ  
てもらうことが重要である。このため、高校1年生及び2年生を対象に、地域資源の魅力  
がどうしたら同年代の高校生に伝わるか考えてもらうことで、社会人とは違った目線でプ  
ロデュースする機会を設ける。

例えば、植木、稲作、大浦ごぼう、赤ピーマンなどを使ったテーマを設定し、植木職  
人や農家、レストランの経営をしているシェフや老舗和菓子屋さんなどに協力してもらい、  
アドバイスをもらいながら、商品に関する提案をしていく。素材の特徴を知っている専門  
家にも協力をしてもらえよう準備をする。

このほか、地元企業に、産業の現状と課題を高校生向けに説明してもらい、テーマに沿  
って高校生が魅力的だと考える仕事について、一緒に考える機会を設ける。商品開発や仕  
事内容について発表することで市内産業・企業の魅力・面白さを紹介してもらう。発表は、



他の生徒や地域住民、企業にも聞いてもらえるようにする。

企業側としても、高校生ならではのアイデアや新たな発見が期待でき、高校生と一緒に取組むことによって、企業の活性化につながることを期待される。また、生徒にとっても考える力とプレゼン力をつけることができることが期待される。

### ③ 「匠瑛をプロデュース」

第3に、働くイメージを持つためには、実際に作ることや実行することが重要であるため、高校2年生以上を対象に、「地元の魅力を発掘しよう！」で提案のあったものの中で実践できそうなことから実践していく。

生徒は、提案の中から、興味あるものを選択し、グループに分かれ、実現するためにどういうことが必要か考える。

その際に、生徒だけでなく、生産者や企業(協力者)に協力をしてもらい、一緒に提案の実現に向けて試行錯誤する。その中で、必要な技術や専門知識が必要な場合は、協力者と共に事務局に相談する。事務局は、市内・市外業者に協力を仰ぐ等サポートする。

そして、完成したものを外部に向けて発信する。市のホームページや広報誌、SNS等様々なところに面白さ・魅力をアピールする。

企業側のメリットとして、高校生とのコラボ製品ということで協賛企業のPRや活性化に繋がる。また、生徒にとっても実際に作る経験と産業の新たな魅力を感じることができると期待される。

### ④ 「匠瑛回帰イベント(期間限定のテーマパーク)」の開催

第4に、地域に愛着を持って卒業した生徒に対し、戻ってくるきっかけを作り、定期的に足を運んでもらうことで一時的に流出したとしても、地元をホームグラウンドと思い、地域を訪れることができるようにすることが重要である。このため、「匠瑛をプロデュース」の成果を発表する場として期間限定のイベントブースを設ける。

地元をプロデュースした成果が集まることによって、地域課題が解決していく流れを作ることができる。そうやって積み上げて行ったものが、大学進学し、後輩がどんな企画を立てて発展するのか気になるようにするため、イベントに参加した生徒には、地域づくりに貢献した証として、市長より「匠瑛づくりマイスター(仮)」の称号等を授与する。地域の課題に対して、真剣に取り組み、課題解決のために考え、実行できる力を養った生徒であるという経験の証である。後に、卒業生が、後輩の指導に顔を出してアドバイスする等つながりも期待できる。また、以前関わった企業とも継続的に交流することで、地元に戻ってきたいと思える地域になると考える。

そして、若者が戻ってくることで、共に働くことで雇用の場ができ、物が売れる。物が売れると収入が増える。そこにまた人が来る。こういった人の循環が、地域の発展につながり、まちが活性化していくことになる。

さらに、まちが活性化していけば、近隣市町村からの流入も見込める。Uターンだけでは、人口減少は止まらないが、毎年少しずつ若者を取り戻すことによって地域が発展して

いくためのきっかけとしたい。

## 8. 終わりに

若者が、地元で愛着を感じ、戻って来たいと思えるまちにすることは、容易なことではない。しかし、戻ってきたいと思っている若者が居るからには、対策を立てる必要がある。

地域で子どもを育てる意識を持ち、子どもと共に成長でき、匝瑳市が元気になることで、若者が少しでも戻ってくることを期待すると共に地域活性化のために尽力したい。

最後に、本研究をご指導くださった日本大学教授・地域リーダー養成塾主任講師の沼尾波子先生、地域リーダー養成塾の関係者の皆様、第 27 期沼尾ゼミの同志、そして地域リーダー養成塾へ快く送り出し、多くのご協力を頂いた匝瑳市役所の皆様に心からお礼申し上げます。

### 【引用文献・ホームページ、参考資料】

- ・匝瑳市総合計画 後期基本計画
- ・匝瑳市ホームページ <http://www.city.sosa.lg.jp/>
- ・総務省「国勢調査」(平成 22 年 (2010 年))
- ・統計そうさ
- ・千葉県人口動態統計
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・島根県立隠岐島前高等学校ホームページ <http://www.dozen.ed.jp/>
- ・Career Guidance (2014 年 10 月 Vol.404)

【別添資料】まちづくりに関するアンケートご協力をお願い

まちづくりに関するアンケートご協力をお願い

実施期間：平成27年12月20日から平成28年1月8日まで

実施対象：千葉県立匝瑳高等学校および敬愛大学八日市場高等学校の高校2年生

実施方法：学校の協力を得て、ホームルームなどでの配布による用紙記入・即時回収

配布数：千葉県立匝瑳高等学校 328人 敬愛大学八日市場高等学校 170人

回収数：千葉県立匝瑳高等学校 318人 敬愛大学八日市場高等学校 163人

回収率：千葉県立匝瑳高等学校 97% 敬愛大学八日市場高等学校 96%

### まちづくりに関するアンケート ご協力をお願い

地域を元気にするにあたり、これからの担う若い方の意見をうかがい、まちづくりに役立てるために高校2年生を対象としたアンケート調査を行うこととしました。

このアンケートは無記名で、調査の結果はすべて統計的に処理し、他の目的に利用することは一切ありませんので、みなさんの率直な気持ちを記入してください。

#### 【記入のお願い】

- ・ 回答は、このアンケート用紙に直接、黒のボールペンか鉛筆で記入してください。
- ・ 回答の選択肢については、各設問の指示に従ってください。また、回答項目のうち、「その他」を選んだ場合や意見を記入する必要がある場合は、( )内になるべく具体的に記入してください。

#### あなた自身に関することについて

問1 あなた自身の性別について教えてください(あてはまるものを1つ選んで番号に○をしてください)

1 男性                      2 女性

問2 あなたは、今どちらから通っていますか(あてはまるものを1つ選んで番号に○をしてください)

1 匝瑳市内              2 県内の匝瑳市以外( )市・町・村              3 県外

問3 あなたが、問2で回答した市町村にはどれくらいいますか(一度その地域を離れて、また戻ってきた場合には、その市町村に居た合計の年数を挙げてください。)

(あてはまるものを1つ選んで番号に○をしてください)

1. 3年未満              2. 3～5年未満              3. 5～9年未満              4. 9年以上

問4 学校以外で、あなたはどのように過ごしていますか

(あてはまるものを選んで番号に○をしてください【複数回答可】)

1 家族と一緒に過ごす      2 友人と遊ぶ              3 地域活動に参加する  
4 塾や予備校に行く              5 習い事(スポーツ・芸術等)をする  
6 その他( )

裏面の記入もお願いします→

【別添資料】 まちづくりに関するアンケートご協力をお願い

**あなたの住んでいる地域(市町村)のことについておたずねします**

問5. あなたが、住んでる地域でおすすめしたいことはありますか  
(次の各分野別に記入してください。特にない場合には「なし」と記入してください。)

1 歴史・文化・イベント (地元出身の俳優〇〇・祇園祭り・〇〇イベント等)	
2 自然・場所・施設 (九十九里海岸・波・山・名所・史跡・おいしいお店・温泉等)	
3 特産品・お土産 (老舗菓子舗の〇〇等・〇〇米、最近売り出した〇〇等)	

問6. あなたは、今住んでいる地域で何かやっている(または、やっていた)ことはありますか

やっていること(やっていたこと) (祭りやイベントへの参加・スポーツ等のサークル活動・清掃活動等のボランティア活動等)	
--	--

問7. あなたは、今住んでいる地域に将来、住みたいと思いますか  
(あてはまるものを1つだけ選んで番号に〇をしてください)

1 ずっと住み続けたい	2 いったん離れても、戻ってきて住みたい
3 住みたいが、住めない	4 住みたくないが、住まざるをえない
5 住みたくない	6 わからない

問8. **問7で「1」または「2」、「3」に〇をした方にお聞きします**  
あなたが、将来、今住んでいる地域に住みたいと考える理由は何ですか  
(あてはまるものがあれば選択肢の中から選んで、下の枠の中に**番号を3つまで**記入して下さい。「8. その他」を選んだ場合は、理由を具体的に記入してください。)

①	②	③	「8. その他」と回答した理由
---	---	---	-----------------

**【選択肢】**

1 通勤・通学に不便を感じないから	2 生活するのに不便だと感じないから
3 住み心地がいい・愛着がある・まちが好き	4 治安がよいから
5 地域活動が盛んだから	6 子育てや福祉施設が充実しているから
7 働きたいところがある	8 その他( )

問9. **問7で「4」または「5」に〇をした方にお聞きします**  
あなたが、将来、今住んでいる地域に住みたくないと考える理由は何ですか  
(あてはまるものがあれば選択肢の中から選んで、下の枠の中に**番号を3つまで**記入して下さい。「9. その他」を選んだ場合は、理由を具体的に記入してください。)

①	②	③	「9. その他」と回答した理由
---	---	---	-----------------

**【選択肢】**

1 通勤・通学に不便だから	2 生活するのに不便だから
3 住み心地が悪い・まちが嫌い	4 治安が悪いから
5 地域活動に参加したくない	6 子育てや福祉施設が不足しているから
7 働きたいところがない	8 他に住みたい地域があるから
9 その他( )	

【別添資料】まちづくりに関するアンケートご協力をお願い

問10. あなたの住んでいる地域に不足しているものはなんですか  
(あてはまるものを選んで番号に○をしてください【複数回答可】)

1 魅力ある大学などの高等教育機関	8 まちのにぎわい
2 公共交通機関	9 人と人の繋がりが
3 レクリエーション・スポーツ施設	10 騒音がなく静かな環境
4 有名な進学塾	11 公園などの憩いの場の整備
5 魅力ある企業	12 十分そろっている
6 地震などの災害に強いこと	13 その他( )
7 流行の商品が買える店	

**卒業後のことに関しておたずねします**

問11. あなたは、将来やってみたい仕事はありますか  
(あてはまるものを1つ選んで番号に○をしてください)

1 ある	2 なんとなくある	3 ない
------	-----------	------

問12. あなたは、高校卒業後(進学した場合は、大学、専門学校卒業後)、働くことに関して  
気がかりなことはありますか  
(あてはまるものを選んで番号に○をしてください【複数回答可】)

1 どんな職業があるかわからない	2 就きたい職に就けるのか
3 職場での人間関係がうまくいか	4 仕事を続けられるか
5 仕事のことはまだ考えてない	6 不安はない
7 その他( )	

問13. 通勤・通学する際、今住んでいるところから通いたいと思いますか  
(あてはまるものを1つ選んで番号に○をしてください)

1 通いたい	2 できれば通いたい
3 進学先・就職先に近いところに引っ越したい	4 まだわからない
5 その他( )	

問14. 問13で答えた理由を教えてください  
(あてはまるものを選択肢の中から選んで、下の枠の中に**番号を2つまで**記入して下さい。  
「8.その他」の場合は、理由を具体的に記入してください。)

①	②	「8. その他」と回答した理由
---	---	-----------------

【選択肢】

1 親と一緒に住みたいから	2 地元に愛着があるから
3 金銭面に不安があるから	4 家族の意向
5 親の力を借りず暮らしたいから	6 生活するのに便利だから
7 自分の時間がほしいから	8 その他( )

**アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。**

【別添資料】まちづくりに関するアンケートご協力のおかげ  
アンケート調査結果

問1 あなた自身の性別について教えてください(あてはまるものを1つ選んで番号に○をしてください)

1 男性 2 女性

	男		女		無回答	合計
県立高校	130	41%	187	59%	1	318
私立高校	70	43%	93	57%	0	163
合計	200	42%	280	58%	1	481

生徒の男女の割合

問2 あなたは、今どちらから通っていますか(あてはまるものを1つ選んで番号に○をしてください)

1 匠瑛市内 2 県内の匠瑛市以外( )市・町・村 3 県外

	市内	市外	県外	合計			
県立高校	103	32%	214	67%	0	0%	318
私立高校	46	28%	114	70%	3	2%	163

問3 あなたが、問2で回答した市町村にはどれくらいいますか(一度その地域を離れて、また戻ってきた場合には、その市町村に居た合計の年数を挙げてください。)  
(あてはまるものを1つ選んで番号に○をしてください)

1. 3年未満 2. 3~5年未満 3. 5~9年未満 4. 9年以上

表 居住年数	市内		市外		県外		未記入	合計	割合
	男	女	男	女	男	女			
1. 3年未満	2	2	4	2	0	1	0	11	2%
2. 3~5年未満	0	1	1	1	0	0	0	3	1%
3. 5~9年未満	1	2	9	4	0	1	0	17	4%
4. 9年以上	63	76	117	190	1	0	1	448	93%
空欄	2	0	0	0	0	0	0	2	0%
合計								481	100%

居住年数

問4 学校以外で、あなたはどのように過ごしていますか  
(あてはまるものを選んで番号に○をしてください【複数回答可】)

表 学校以外での過ごし方	市内		市外		合計					
	男	女	男	女	合計	割合				
1 家族と一緒に過ごす	62	91%	73	90%	87	66%	165	84%	387	80%
2 友人と遊ぶ	44	65%	65	80%	86	66%	156	79%	351	73%
3 地域活動に参加する	2	3%	6	7%	2	2%	7	4%	17	4%
4 塾や予備校に行く	20	29%	39	48%	40	31%	51	26%	150	31%
5 習い事(スポーツ・芸術等)をする	8	12%	15	19%	17	13%	42	21%	82	17%
6 その他( )	3	4%	6	7%	15	11%	22	11%	46	10%
合計									477	99%

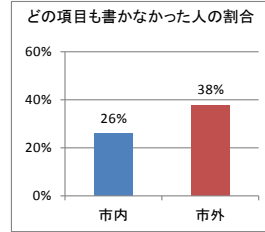
休日の過ごし方

【別添資料】まちづくりに関するアンケートご協力のおかげ  
アンケート調査結果

問5. あなたが、住んでる地域でおすすめてほしいことはありますか

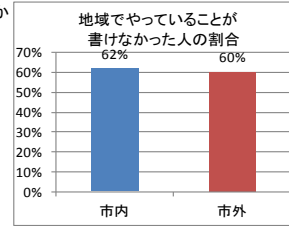
(次の各分野別に記入してください。特にない場合には「なし」と記入してください。)

		市内		市内外		市内	市外
		男	女	男	女		
1 歴史・文化・イベント	なし	33	19	81	99	52	180
2 自然・場所・施設	なし	39	44	86	105	83	191
3 特産品・お土産	なし	49	45	83	125	94	208
3項目ともなし		24	15	63	63	39	126
元の人数		68	81	132	199	149	331
全部なしの割合		35%	19%	48%	32%	26%	38%

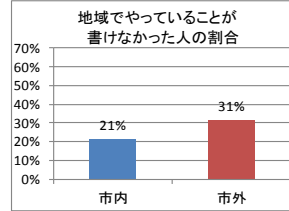


問6. あなたは、今住んでいる地域で何かやっている(または、やっていた)ことはありますか

	市内		市内外		市内	市外
	男	女	男	女		
何も書いてない人	48	44	75	124	92	199
元の人数	68	81	132	199	149	331
	71%	54%	57%	62%	62%	60%



クロス集計	市内		市内外		市内	市外
	男	女	男	女		
問5、問6無回答	18	13	54	49	31	103
元の人数	68	81	132	199	149	331
	26%	16%	41%	25%	21%	31%



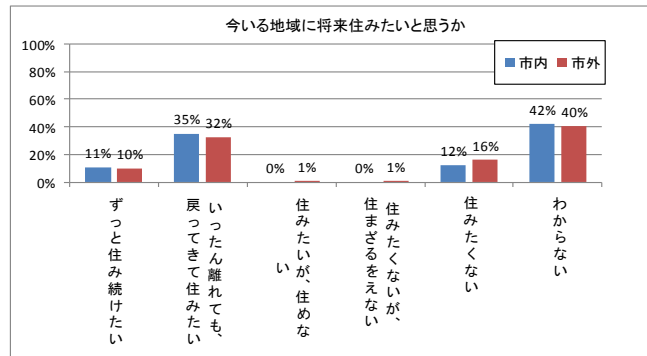
問7. あなたは、今住んでいる地域に将来、住みたいと思いますか

	県立高校				私立高校			
	市内男	市内女	市外男	市外女	市内男	市内女	市外男	市外女
1 ずっと住み続けたい	4	4	7	9	3	5	7	10
2 いったん離れても、戻ってきて住みたい	15	18	24	48	9	10	11	23
3 住みたいが、住めない	0	0	0	1	0	0	0	1
4 住みたくないが、住まざるをえない	0	0	0	0	0	0	1	2
5 住みたくない	9	5	15	20	3	1	10	8
6 わからない	18	30	37	51	6	8	19	25
	46	57	83	129	21	24	48	69

	市内		市内外		市内	市外
	男	女	男	女		
1 ずっと住み続けたい	7	9	14	19	16	33
2 いったん離れても、戻ってきて住みたい	24	28	35	71	52	106
3 住みたいが、住めない	0	0	0	2	0	2
4 住みたくないが、住まざるをえない	0	0	1	2	0	3
5 住みたくない	12	6	25	28	18	53
6 わからない	24	38	56	76	62	132
	67	81	131	198	148	329

	県立高校				私立高校			
	市内男	市内女	市外男	市外女	市内男	市内女	市外男	市外女
1 ずっと住み続けたい	9%	7%	8%	7%	14%	21%	15%	14%
2 いったん離れても、戻ってきて住みたい	33%	32%	29%	37%	43%	42%	23%	33%
3 住みたいが、住めない	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	1%
4 住みたくないが、住まざるをえない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	3%
5 住みたくない	20%	9%	18%	16%	14%	4%	21%	12%
6 わからない	39%	53%	45%	40%	29%	33%	40%	36%
	100	100	100	100	100	100	100	100

	市内		市内外		市内	市外
	男	女	男	女		
1 ずっと住み続けたい	10%	11%	11%	10%	11%	10%
2 いったん離れても、戻ってきて住みたい	36%	35%	27%	36%	35%	32%
3 住みたいが、住めない	0%	0%	0%	1%	0%	1%
4 住みたくないが、住まざるをえない	0%	0%	1%	1%	0%	1%
5 住みたくない	18%	7%	19%	14%	12%	16%
6 わからない	36%	47%	43%	38%	42%	40%
	100	100	100	100	100	100



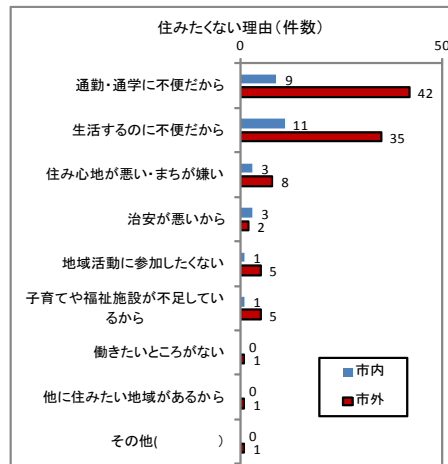
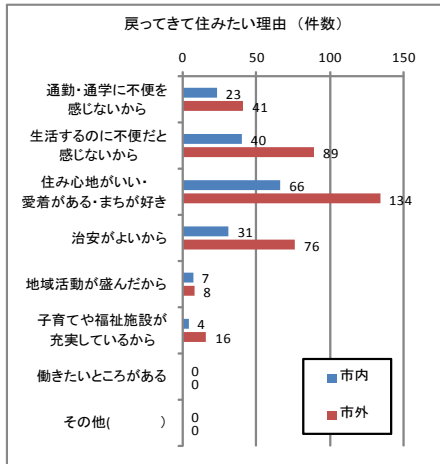
【別添資料】まちづくりに関するアンケートご協力のおかげ  
アンケート調査結果

問8. 戻ってきて住みたい理由

	県立高校				私立高校				市内		市内外		市内		市外	
	市内男	市内女	市外男	市外女	市内男	市内女	市外男	市外女	男	女	男	女	男	女	男	女
1 通勤・通学に不便を	5	5	6	11	5	8	7	17	10	13	13	28	23	41		
2 生活するのに不便だと	8	10	16	35	10	12	12	26	18	22	28	61	40	89		
3 住み心地がいい・	19	21	30	55	12	14	17	32	31	35	47	87	66	134		
4 治安がよいから	9	12	20	41	5	5	4	11	14	17	24	52	31	76		
5 地域活動が盛んだから	2	3	4	2	1	1	1	1	3	4	5	3	7	8		
6 子育てや福祉施設が	0	2	4	8	0	2	2	2	0	4	6	10	4	16		
7 働きたいところがある	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
8 その他( )	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
									76	95	123	241	535	171	364	

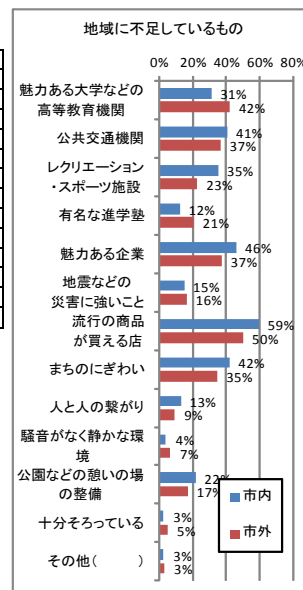
問9. 戻って来たくない理由

	県立高校				私立高校				市内		市内外		市内		市外	
	市内男	市内女	市外男	市外女	市内男	市内女	市外男	市外女	男	女	男	女	男	女	男	女
1 通勤・通学に不便だから	6	3	13	14	0	0	8	7	6	3	21	21	9	42		
2 生活するのに不便だから	5	3	7	14	2	1	6	8	7	4	13	22	11	35		
3 住み心地が悪い・まちが	2	1	4	1	0	0	3	0	2	1	7	1	3	8		
4 治安が悪いから	3	0	2	0	0	0	0	0	3	0	2	0	3	2		
5 地域活動に参加したくない	0	0	2	0	1	0	3	0	1	0	5	0	1	5		
6 子育てや福祉施設が不足	0	1	0	0	0	0	1	4	0	1	1	4	1	5		
7 働きたいところがない	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
8 他に住みたい地域がある	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
9 その他( )	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
									19	9	49	51	128	28	100	



問10. あなたの住んでいる地域に不足しているものはなんですか

	市内		市内外		市内	順位	市外	順位	市内	市外
	男	女	男	女						
1 魅力ある大学などの	16	30	58	81	46	6	139	2	31%	42%
2 公共交通機関	24	36	36	85	60	4	121	4	41%	37%
3 レクリエーション	24	28	38	37	52	5	75	6	35%	23%
4 有名な進学塾	4	14	27	41	18	10	68	7	12%	21%
5 魅力ある企業	30	38	54	69	68	2	123	3	46%	37%
6 地震などの	9	13	21	33	22	8	54	9	15%	16%
7 流行の商品	38	50	58	107	88	1	165	1	59%	50%
8 まちのにぎわい	27	35	44	70	62	3	114	5	42%	35%
9 人と人の繋がり	11	8	14	16	19	9	30	10	13%	9%
10 騒音がなく静かな環境	5	1	14	8	6	11	22	11	4%	7%
11 公園などの憩いの場	18	14	25	31	32	7	56	8	22%	17%
12 十分そろっている	2	2	5	11	4	12	16	12	3%	5%
13 その他( )	2	2	2	8	4	12	10	13	3%	3%
基の人数	67	81	131	198	148		329			





【別添資料】まちづくりに関するアンケートご協力のおかげ  
アンケート調査結果

問11. あなたは、将来やってみたい仕事はありますか

	県立高校				私立高校				市内		市内外		市内		市外	
	市内男	市内女	市外男	市外女	市内男	市内女	市外男	市外女	男	女	男	女	市内	市外	市内	市外
1 ある	19	33	31	62	5	10	28	42	24	43	59	104	67	163		
2 なんとなくある	17	18	33	52	11	12	16	21	28	30	49	73	58	122		
3 ない	10	6	18	14	6	2	4	6	16	8	22	20	24	42		
元的人数	46	57	82	128	22	24	48	69	476	68	81	130	197	476	149	327

	県立高校				私立高校				市内		市内外		市内		市外	
	市内男	市内女	市外男	市外女	市内男	市内女	市外男	市外女	男	女	男	女	市内	市外	市内	市外
1 ある	41%	58%	38%	48%	23%	42%	58%	61%	35%	53%	45%	53%	45%	50%		
2 なんとなくある	37%	32%	40%	41%	50%	50%	33%	30%	41%	37%	38%	37%	39%	37%		
3 ない	22%	11%	22%	11%	27%	8%	8%	9%	24%	10%	17%	10%	16%	13%		
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		

将来、やってみたいことはありますか

回答	市内 (%)	市外 (%)
ある	45%	50%
なんとなくある	39%	37%
ない	16%	13%

問12 あなたは、高校卒業後(進学した場合は、大学、専門学校卒業後)、働くことに関して気がかりなことはありますか

	県立高校				私立高校				市内		市内外		市内		市外	
	市内男	市内女	市外男	市外女	市内男	市内女	市外男	市外女	男	女	男	女	市内	市外	市内	市外
1 どんな職業があるの	4	6	17	11	4	3	6	4	8	9	23	15	17	38		
2 就きたい職に	27	39	48	85	14	15	31	51	41	54	79	136	95	215		
3 職場での人間関係がうまくいか	8	17	24	46	11	14	16	30	19	31	40	76	50	116		
4 仕事を続けられるか	5	13	13	32	6	3	12	16	11	16	25	48	27	73		
5 仕事のことはまだ考えてない	12	1	7	9	2	3	3	2	14	4	10	11	18	21		
6 不安はない	2	4	10	10	0	1	4	3	2	5	14	13	7	27		
7 その他( )	1	1	1	0	0	0	2	0	1	1	3	0	2	3		
元的人数	46	57	84	130	22	24	48	69	480	68	81	132	199	480	149	331

	県立高校				私立高校				市内		市内外		市内		市外	
	市内男	市内女	市外男	市外女	市内男	市内女	市外男	市外女	男	女	男	女	市内	市外	市内	市外
1 どんな職業があるの	9%	11%	20%	8%	18%	13%	13%	6%	12%	11%	17%	8%	11%	11%		
2 就きたい職に	59%	68%	57%	65%	64%	63%	65%	74%	60%	67%	60%	68%	64%	65%		
3 職場での人間関係がうまくいか	17%	30%	29%	35%	50%	58%	33%	43%	28%	38%	30%	38%	34%	35%		
4 仕事を続けられるか	11%	23%	15%	25%	27%	13%	25%	23%	16%	20%	19%	24%	18%	22%		
5 仕事のことはまだ考えてない	26%	2%	8%	7%	9%	13%	6%	3%	21%	5%	8%	6%	12%	6%		
6 不安はない	4%	7%	12%	8%	0%	4%	8%	4%	3%	6%	11%	7%	5%	8%		
7 その他( )	2%	2%	1%	0%	0%	0%	4%	0%	1%	1%	2%	0%	1%	1%		
	141%	148%	147%	150%	141%	148%	147%	150%	141%	148%	147%	150%	145%	149%		

働くことに関して気がかりなことはありますか

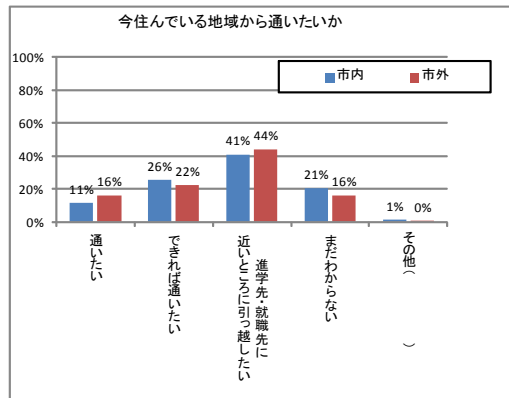
回答	市内 (%)	市外 (%)
どんな職業があるの	11%	11%
就きたい職に	64%	65%
職場での人間関係がうまくいか	34%	35%
仕事を続けられるか	18%	22%
仕事のことはまだ考えてない	12%	6%
不安はない	5%	8%
その他( )	1%	1%

【別添資料】まちづくりに関するアンケートご協力のおかげ  
アンケート調査結果

問13. 通勤・通学する際、今住んでいるところから通いたいと思いますか

	県立高校				私立高校				市内	市外				
	市内男	市内女	市外男	市外女	市内男	市内女	市外男	市外女						
1 通いたい	1	7	9	15	4	5	11	19	5	12	20	34	17	54
2 できれば通いたい	14	12	14	28	6	6	10	22	20	18	24	50	38	74
3 進学先・就職先に近いところに引っ越したい	22	26	44	62	7	6	17	23	29	32	61	85	61	146
4 まだわからない	8	11	15	24	5	7	10	5	13	18	25	29	31	54
5 その他( )	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	2	1
元的人数	46	57	84	130	22	24	48	69	68	81	132	199	149	331

	県立高校				私立高校				市内	市外				
	市内男	市内女	市外男	市外女	市内男	市内女	市外男	市外女						
1 通いたい	2%	12%	11%	12%	18%	21%	23%	28%	7%	15%	15%	17%	11%	16%
2 できれば通いたい	30%	21%	17%	22%	27%	25%	21%	32%	29%	22%	18%	25%	26%	22%
3 進学先・就職先に近いところに引っ越したい	48%	46%	52%	48%	32%	25%	35%	33%	43%	40%	46%	43%	41%	44%
4 まだわからない	17%	19%	18%	18%	23%	29%	21%	7%	19%	22%	19%	15%	21%	16%
5 その他( )	2%	2%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	1%	1%	0%
									100%	100%	98%	100%	100%	99%



問14. 問13で答えた理由

	県立高校				私立高校				市内	市外				
	市内男	市内女	市外男	市外女	市内男	市内女	市外男	市外女						
1 親と一緒に住みたいから	2	7	6	16	3	4	1	15	5	11	7	31	16	38
2 地元へ愛着があるから	9	12	20	24	5	6	9	14	14	18	29	38	32	67
3 金銭面に不安があるから	11	15	12	24	6	6	14	22	17	21	26	46	38	72
4 家族の意向	4	11	13	20	2	7	4	10	6	18	17	30	24	47
5 親の力を借りず暮らしたいから	14	10	22	26	4	5	9	13	18	15	31	39	33	70
6 生活するのに便利だから	21	32	35	71	11	7	29	35	32	39	64	106	71	170
7 自分の時間がほしいから	18	13	33	41	6	3	16	14	24	16	49	55	40	104
8 その他( )	5	3	4	8	1	1	2	5	6	4	6	13	10	19
元的人数	46	57	84	130	22	24	48	69	68	81	132	199	149	331

	県立高校				私立高校				市内	市外				
	市内男	市内女	市外男	市外女	市内男	市内女	市外男	市外女						
1 親と一緒に住みたいから	4%	12%	7%	12%	14%	17%	2%	22%	7%	14%	5%	16%	11%	11%
2 地元へ愛着があるから	20%	21%	24%	18%	23%	25%	19%	20%	21%	22%	22%	19%	21%	20%
3 金銭面に不安があるから	24%	26%	14%	18%	27%	25%	29%	32%	25%	26%	20%	23%	26%	22%
4 家族の意向	9%	19%	15%	15%	9%	29%	8%	14%	9%	22%	13%	15%	16%	14%
5 親の力を借りず暮らしたいから	30%	18%	26%	20%	18%	21%	19%	19%	26%	19%	23%	20%	22%	21%
6 生活するのに便利だから	46%	56%	42%	55%	50%	29%	60%	51%	47%	48%	48%	53%	48%	51%
7 自分の時間がほしいから	39%	23%	39%	32%	27%	13%	33%	20%	35%	20%	37%	28%	27%	31%
8 その他( )	11%	5%	5%	6%	5%	4%	4%	7%	9%	5%	5%	7%	7%	6%
									179%	175%	173%	180%	177%	177%

